

レジメン名 : FOLFIRI+サイラムザ2週毎(ポンプ)

疾患名 : 大腸がん

投与間隔 (1コース期間) : 14日毎

総コース数 : PDになるまで

特記事項 : UGT1A1の測定  
フィルター付きルートの使用

投与 順序	レジメン内容 (医薬品名)	投与量	単位 (mg/m <sup>2</sup> , V等)	投与方法 (手技)	投与時間 (速度等)	投与日 (Day1等)	備考 (内服薬の用法等)
Rp.	1 生理食塩液 100mL		1 本	点滴静注:メイン		D1	ルート確保用/フィルター付きセットを使用すること
	ハロ/セトロン点滴静注バッグ0.75mg		1 袋				
	ポララミン注 5mg		1 本				
	デキサート 6.6mg		1 瓶	点滴静注: メイン	15分	D1	
	2 デキサート 1.65mg		2 本				
	サイラムザ		8 mg/kg	点滴静注: メイン		D1	サイラムザ分の生食を抜いて 全量250mLにする 初回60分,2回目以降30分 まで短縮可
	3 生理食塩液 250mL		1 袋	点滴静注:メイン	15分	D1	
	4 生理食塩液 50mL		1 本	点滴静注:メイン	15分	D1	
	レボホリナート		200 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注: メイン	120分	D1	イリノテカンと同時に 2時間で投与
	5 5%ブドウ糖 250mL		1 袋	点滴静注: 側管	120分	D1	レボホリナートと同時 に2時間で投与
	6 生理食塩液 250mL		1 袋	点滴静注: メイン	全開	D1	レボホリナート終了後、全 開で投与
	フルオロウラシル		400 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注: メイン	46時間	D1	ホーラスのフルオロウラシル終了後 46時間で投与 全量140mLとする
	7 生理食塩液 50mL		1 本	点滴静注: メイン	15分	D2	持続のフルオロウラシル終了後使用、 フラッシュ用
	8 生理食塩液 100mL		1 瓶	インヒュー ザーポンプ			
	9 生食シリンジ 20mL		1 本	点滴静注: メイン			
	2021年4月サイラムザの投与速度変更						

#### 減量基準

減量規定 (副作用名等)	減量条件 (検査値等)	抗癌剤名	減量割合等 (減量後の割合又は投与量)
好中球減少	500/mm <sup>3</sup> 未満	オキサリプラチンを65mg/m <sup>2</sup> に減量	
血小板減少	50000/mm <sup>3</sup> 未満	5-FUを20%減量(ホーラス、持続ともに)	
t-Bil上昇	5mg/dL以上	5-FU	投与中止
尿蛋白	2+, 1日定量で2g以上	サイラムザ	投与中止

#### 参考文献

①NCCN ガイドライン日本語版 結腸癌、直腸がん(2017)

③Taberero J, et al. Analysis of angiogenesis biomarkers for ramucirumab efficacy in patients with metastatic colorectal cancer from RAISE, a global, randomized, double-blind, phase III study. Ann Oncol 2018; 29(3): 602-609